

『みんなのスポーツ』7月号（No.505）から学ぶ

林 但
う

平素より協議会の活動にご理解をいただきありがとうございます。

表記、公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合機関誌の7月号は「**総合型地域スポーツクラブの現在と登録・認証制度**」の特集号です。

私の視点で気づいたこと・感じた事、参考になる点を4点記載します。



- (1) その課題、どうすれば解決できますか？ 四日市市 スポーツ推進委員を取り巻く様々な課題を解決の導くこのコーナー。第2弾は、「変化」をキーワードに、「機構改革」をとおして、現在進行形で変化する四日市スポーツ推進委員協議会が紹介されています。

四日市市は会社勤務時代よく訪問していた事業所がある所で、事務局を担当していた人もスポーツ推進委員でした。そんな事情もあり記事にくぎづけになりました。

スポーツ推進委員が足りないというのは、活動をやればやっただけ出てくる課題。そもそも事業を「見える化」するから、課題を発見する・・・のくだりにはその通り。やらなければ何も見えてこない。市から言われたことだけやっていけばよいという人もあることは把握しています。

部活動の地域移行などひとつの市だけでやって行くだけでなく、他都市と事業を構築・展開していく必要に迫られているように思います。当市でも同じようにやった方が良く私は考えています。

また、小学校の児童数は急速に減少、学区ごとの行事も近隣の学区やブロックごとに行った方が良く思う場合もあります。ブロックなどで話をして言うてはどうでしょうか？

同じことをやっているのは市民の皆さんのニーズに答えられない、マンネリ化してはなおいけない。新しいことにチャレンジして、新しい景色を見るようにできることから取り組んでいこうと考えています。

- (2) 連載 若手委員の『リアルな声』から『スポーツ推進委員のミライ』を考える の内容を読んで、冒頭に書かれていたスポーツ推進委員のみならず 何事も「楽しめる人」は 人生を謳歌することができる のくだりはまさに同感。

このスポーツ推進委員1年目の方は大学卒業後、東京から島根県益田市に戻り、民間企業その後、縁があって現在は地域づくり・人づくりに関する仕事をされている方が記載されています。先輩委員から指導スキルを学ぼうと必死でいろいろ学びましたが、ニュースポーツに関して「紹介をする際には、事細かくルール他を説明するとかえって混乱、楽しむことができないかも」最小限の説明と伝え方も一様ではなく、いろんなやり方があるということを学ばれたこと。学区内でもニュースポーツ体験会など行くと、説明が長く楽しめない場合を見ることもあり、指導方法や委員のモチベーションアップも図らなければと考えさせられることがあります。

- (3) スポーツをひらく パラスポーツの展開 岩手県滝沢市 パラスポーツの取り組みは、滝沢市では体育協会や社会福祉協議会と連携して行っています。それぞれの市町の考え方があり

従います。7月に神奈川県の記事研修会で「障害概論」、主な障害（身体・知的・精神）についての理解を深め、基本的な対応方法を学び（9月度理事会で報告）ました。当市では障害のある方に対しては、障害者協会や福祉部が主に担っております。協議会では障害の有無にかかわらず、子どもから大人まで多世代の方が一緒にスポーツに取り組めればと、ソフトバレーボール、グラウンド・ゴルフ。R6年度からは第3弾として「ピックルボール」「モルック」に取り組んでいます。6月にはニュースポーツ研修会でこの2種目について学びました。各ブロック・学区ごとに展開を図っていきたいと思っています。みんなで楽しみましょう！！

(4)げ・ん・き 活動日誌：活動歴16年/59歳 「教えることは教わること」

パラスポーツのイベントに取り組んでおられ、そこで気づいたこととして以下の事例が紹介されておりました。障害ある方が技術を獲得するには、健常者以上の練習が必要だと思います。あきらめずに練習を続ける過程、努力に共感し、感動を覚えるのでしょうか。この方が活動で大切にされているのが、「教えることは教わること」

この方の街では、日曜日の朝10時に集合し、お揃いのユニホームを着て、往復1時間半の道のりを歩くもので、地域にある様々の団体にも声をかけて、参加者を募っておられるとの事。何年か前に、逗子市の方が毎日曜日13時から「モルック」の紹介を兼ねて公園の一角で体験会を行っておられ参加したことがある。スポーツ推進委員の知名度アップには地道な努力が必要だと思います。スポーツの楽しさ・面白さを短時間でポイント良く教えることを学ぶ機会である。

今月号では4つの事に記載致しました、知っていることが多いと思う方もあるかもしれませんが、気づいたことでできることから始めて（行動）みませんか？

* **本冊子は有益で私たちの活動のヒントや答えがある**ように私は思います。年間購読されなかった方は、個別にも購入はできますので一度読んでみてください。問題意識や感度を高めていくと紹介されている事例が使える場合と横須賀ではこのままでは使えないがこうすればできる。こんな方法もあるなど感ずると思います。是非一緒に取り組んでいきましょう！

以上